
中学生たちの春

大賀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

中学生たちの春

【Nコード】

N7109A

【作者名】

大賀

【あらすじ】

中学校に入学してからもう3ヶ月。友達とも仲良くなり、お楽しみ
の夏休みが迫ってきた。そんななかで、主人公ー沙也香にも春が

――

興奮　そしてため息（前書き）

この作品は、オレの友達を参考にして書いて見ました。中学生は、思春期にも入り、いろいろとイザコザがあるんです。友達のことだったり、好きな人のことだったりーまだまだ文章能力もないオレですけど、読んでいただければ嬉しいです！よろしくお願いします。

興奮　そしてため息

中学校に入学してから早3ヶ月。とうとう夏休みまであと8日だ。小学校の頃はあまり仲がいいとは言えなかった友達とも、クラスが同じになったからか、仲良くなった。

「サヤ…沙也香ーさやかー？」

そう、あたしの名前は沙也香。友達ほとんどの人があたしのことをサヤと呼んでいる。たぶん、サヤと呼んでいないのは先生たちくらいだろう。

「何？何か言った？」

「ああ、ちゃんと聞いてよお！」

中学校に入ってから仲良くなった、南湖ーなこーちゃん。ちなみに、同じ小学校出身だ。

「ゴメン、ゴメン。はいつ、何？」

「だからねえ、神坂先輩があ…」

南湖ちゃんには今、春が訪れていた。

三年生の神坂 卓也ーかみさか たくやー先輩。その人が、南湖ちゃんの好きな人だ。あたしから見ても、けっこうイケメンランクに入る。色白だし、小顔だし。南湖ちゃんは、卓也先輩を見るだけで興奮しだしあたしに話ってくる。

まあ、それだけ頼ってくれているということなのだろう。

「卓也先輩と、今、目があっちゃったんだよお〜！」

この通りの興奮ぶり。

「えっ、いついつ？」

でっ、おもわずのってしまうあたし。だから話があうのだろう。

「ン？なんだってえ？」

横からひよっこり現れたのが、幸谷ーこうやー。この間の席替えで隣になったばかりの子だ。坊主頭だけど、シャイで、かわいい！放課後の2人だけだった静かな教室が、なんとなく幸谷が来て明る

くなつた気がした。

「なつ、なんでもない！ていうか、今の話聞いてないよね！？」
動揺する南湖ちゃん。

それにちよつとにやける幸谷。

南湖ちゃんの赤面。次の瞬間、南湖ちゃんの手が幸谷の肩にのびていた。

「お願いだから！絶対誰にも言わないでえ！！」

興奮　そしてため息（後書き）

ありがとうございます！後書きを読んで下さったということは、本文もよんでいただけたってことでしょうか？あっ、スイマセン。良ければ、オレにアドバイスよろしくお願いします！お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7109a/>

中学生たちの春

2010年11月27日13時02分発行